

海外経済

		5月月例	6月月例
世界経済		世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められているが、 <u>当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>	世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、極めて厳しい状況にあるが、 <u>下げ止まりつつある。</u> 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、 <u>極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>
アメリカ		アメリカでは、景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められているが、 <u>当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>	アメリカでは、景気は極めて厳しい状況にあるが、 <u>下げ止まりつつある。</u> 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、 <u>極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>
アジア地域	中国	中国では、景気は引き続き厳しい状況にあるものの、 <u>足下では持ち直しの動きもみられる。</u> 先行きについては、 <u>感染症の影響が薄らいでいくことが期待されるが、感染症が国内外の経済に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。また、金融資本市場の変動等の影響に留意する必要がある。</u>	中国では、景気は厳しい状況にあるものの、 <u>持ち直しの動きが続いている。</u> 先行きについては、 <u>持ち直していくことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>
	その他アジア	韓国では、景気は厳しい状況にある。台湾では、景気は減速している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にある。タイでは、景気は極めて厳しい状況にある。インドでは、景気は極めて厳しい状況にある。	韓国では、景気は厳しい状況にある。台湾では、景気は減速している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にある。タイでは、景気は極めて厳しい状況にある。インドでは、景気は極めて厳しい状況にある。
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	ユーロ圏では、景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。ドイツにおいても、 <u>景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。</u> 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められているが、 <u>当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>	ユーロ圏では、景気は極めて厳しい状況にあるが、 <u>下げ止まりつつある。</u> ドイツにおいても、 <u>景気は極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。</u> 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、 <u>極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、圏内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>
	英国	英国では、景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められているが、 <u>当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>	英国では、景気は極めて厳しい状況にあるが、 <u>下げ止まりつつある。</u> 先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、 <u>極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u>

(注) 下線部は先月から変更した部分。